

「KENPOKU ART 2016 茨城県北芸術祭」開幕まであと1日！

「気になるイバラキ」茨城県秋期観光キャンペーン2016 新着トピックス！

JR 東日本水戸支社では、2016年9月17日（土）から11月20日（日）にかけて開催される「KENPOKU ART 2016 茨城県北芸術祭」に合わせて『気になるイバラキ』茨城県秋期観光キャンペーン2016」を実施します。7月・8月に観光キャンペーンラインナップについてお知らせ※してまいりましたが、今回のプレスリリースでは観光キャンペーンに関する“新着トピックス”をお知らせします。

新着トピックス



KENPOKU
ART 2016
茨城県北芸術祭

◆小冊子「小さな旅」で“秋のときわ路”の魅力をご紹介します！

季節ごとに発行し、首都圏のJR駅にてお配りしている「小さな旅」を茨城県北芸術祭・観光キャンペーン特別号として発行します。茨城県北芸術祭を中心に旬の観光情報をご紹介します。

◆秋の臨時列車詳細決定！

県内有数の紅葉スポットへのお出かけに便利な臨時列車の詳細が決定しました。この秋は臨時列車をご利用いただき、茨城県が誇る絶景紅葉スポットで紅葉狩りをお楽しみください。

◆びゅう旅行商品「秋のひたち海浜公園」発売中！

秋の国営ひたち海浜公園は、鮮やかに色づいたコキアによる“真っ赤な絶景”が広がります。上野東京ライン直通の特急列車・臨時急行列車でひたち海浜公園へ是非お越しください。

◆水郡線営業所まつり“車両展示”詳細決定！

11月13日（日）に開催される「水郡線営業所まつり」の目玉である“車両展示”の詳細が決定しました。

◆茨城県北芸術祭に合わせて“駅装飾”・“特急車内ポスター掲出”実施

茨城県北芸術祭の会場最寄駅等を装飾し、芸術祭を盛り上げるとともに、芸術祭に列車でお越しになったお客さまをおもてなしします。また、常磐線特急列車の車内にポスターを掲出し、特急列車ご利用のお客さまに芸術祭の情報を発信します。

◆JR駅がアート空間に様変わり！

常陸多賀駅・日立駅で芸術祭のアート作品が展示され、駅がアート空間に一変します。

◆日立駅が代表となって茨城県北芸術祭“応援事業”実施

茨城県北芸術祭“応援事業”として日立市内の高校生が制作した作品を最寄駅に展示します。

◆茨城県北芸術祭“インフォメーションセンター”“ナビスポット”設置

茨城県北芸術祭の案内所としての機能をもつ、“インフォメーションセンター”“ナビスポット”を常磐線・水郡線の駅に設置し、芸術祭の各種情報提供を行います。

※『気になるイバラキ』茨城県秋期観光キャンペーン2016」について、7月22日・8月22日にプレスリリースしております。詳しくは、JR水戸支社ホームページ (www.jrmito.com) をご覧ください。

1 小冊子「小さな旅」で“秋のときわ路”の魅力をご紹介します！

首都圏の駅でお配りしている*小冊子「小さな旅」には、旬なおススメスポット・イベントが満載です。今回発行する「小さな旅」では、茨城県北芸術祭の情報を中心に“紅葉”や“ワイン”など秋の茨城・福島の旬の観光情報をご紹介します。

※「小さな旅」は首都圏の駅でお配りするほか、常磐線特急列車車内でも配布します。



▶ 特集“茨城県北エリア”

茨城県北芸術祭の見どころと、芸術祭と合わせて楽しめる紅葉スポットをご紹介します。



～奥久慈清流エリア【大子町】～



ジョン・ヘリョン 袋田の滝

トンネル内のうねるような形の構造物が、その色を幻想的に変化させながら袋田の滝へと来場者を導きます。
《Abstract Time-Amore 2013》



田中信太郎 旧上岡小学校

1970年に高度成長期への社会批評を込めて発表された作品が再制作され、再び人間と文明の関係を問いかけます。
《無題 1970》



臥雲山 永源寺 (もみじ寺)

永源寺は1446年に創建された曹洞宗の寺院で、秋には見事な紅葉が見られることから「もみじ寺」と呼ばれています。

▶ 紅葉スポット

茨城県及び福島県（いわきエリア）の秋色に染まる絶景スポットをご紹介します。



～水戸・ひたちなかエリア～



七ツ洞公園

本格的な英国式庭園で、美しく色づいた紅葉と異国情緒あふれる建物やオブジェをあわせてお楽しみ下さい。



茨城県立歴史館

約6,000点の一橋徳川家寄贈史料を収蔵する県立歴史館。秋には、庭園のいちよう並木が黄金に染まる幻想的な世界が広がります。



国営ひたち海浜公園

約200haという広大な開園面積を誇る国営ひたち海浜公園。紅葉のピーク時には、コキアがみはらしの丘一面を深紅に染め上げます。

▶ ワイン&グルメ

日本初の本格的ワイナリーのシャトーカミヤをはじめとして、ワイン醸造が盛んな茨城県。ご当地を代表する逸品やワインと相性ばっちりのグルメなどを紹介しております。



～柚子ワイン・ワイン祭り・おつまみ～



木内酒造 木内柚子ワイン

糖度の高い茨城県産の柚子「タダニシキ」を使用したワインで日本はもとより、アメリカでも人気急上昇中の個性派ワインです。



シャトーカミヤ ワイン祭り 2016

日本初の本格的ワイナリー、シャトーカミヤが主催するイベントです。20種類以上のワインや、発酵途中の「もろみワイン」も味わえます。



舟納豆 ワイン de ナットーネ

納豆専門店が「ワインに合う納豆」を追求し生まれた「ワイン de ナットーネ」。ワインとの美味しいハーモニーをお楽しみください。

※9月現在販売中止中。10月から販売開始予定。

2 秋の臨時列車詳細決定！

茨城県内有数の紅葉スポットである、国営ひたち海浜公園、水郡線沿線の袋田の滝・奥久慈溪谷へのお出かけにとっても便利な臨時列車を運行します。

(1) 【急行】海浜公園コキア号

春のネモフィラで絶景スポットとして人気の国営ひたち海浜公園。秋になるとコキアが鮮やかに紅葉し、みはらしの丘を真っ赤に染め上げます。横浜方面から紅葉し始めたコキアが一面に広がる国営ひたち海浜公園へ、お出かけに便利な直通臨時列車を運転します。

列車名	運転区間		運転日	記事
	発 駅 発時刻	着 駅 着時刻		
【急行】 海浜公園コキア号	横浜駅 8:02	勝田駅 10:25	10/9(日) 10(月・祝)	651系7両 定員398名 全車指定席
	勝田駅 17:27	横浜駅 20:05		

停車駅：横浜・川崎・品川・東京・上野・松戸・柏・水戸・勝田



651系 (イメージ)



国営ひたち海浜公園 (イメージ)

(2) 【快速】ぶらり奥久慈清流ライン号

水郡線沿線は袋田の滝・奥久慈溪谷など県内有数の紅葉スポットです。紅葉の美しい時期に水郡線沿線で開催される「茨城県北芸術祭」や「駅からハイキング」に合わせて、主に東北地方を中心に運転している観光車両「Kenji」を使った臨時列車を運転します。

列車名	運転区間		運転日	記事
	発 駅 発時刻	着 駅 着時刻		
【快速】 ぶらり奥久慈 清流ライン号	水戸駅 8:59	常陸大子駅 10:04	11/12(土) 13(日)	キハ58系・28系3両 Kenji 定員130名 全車指定席
	常陸大子駅 16:06	水戸駅 17:20		

停車駅：水戸・上菅谷・常陸大宮・袋田・常陸大子



Kenji (イメージ)



袋田の滝 (イメージ)

3 びゅう旅行商品「秋のひたち海浜公園」発売中！

鮮やかに紅葉したコキアによる“真っ赤な絶景”が広がる秋の国営ひたち海浜公園へ、上野東京ライン直通の特急列車、臨時急行列車に乗って、是非お越しください。

【商品名①】日帰り ひたち海浜公園

【商品名②】日帰り 急行 海浜公園コキア号で行くひたち海浜公園

【商品内容】往復の特急又は急行列車利用＋ひたち海浜公園入園料
＋シーサイドトレイン※1 日周遊券

※シーサイドトレイン：園内を1周約40分で周遊できる可愛いトレインです。園内に10カ所ある停留所で、乗り降り自由で1日乗り放題です。

◆「日帰り ひたち海浜公園」は出発当日の申し込みもOK！詳しくはパンフレットをご覧ください。

◆お申し込みはJRの主な駅にあるびゅうプラザで承ります。



旅行商品パンフレット

4 「水郡線営業所まつり」“車両展示” 詳細決定！

沿線や地域の皆さまに日頃の感謝を込めて「水郡線営業所まつり」を開催します。

(1) 開催日時

2016年11月13日(日) 10:00~15:00

※雨天決行 (入場は14:30まで)

(2) 開催場所

水郡線営業所構内(常陸大子駅より徒歩10分)

※入場無料

(3) 車両展示

キハE130系※、キハ110系、

キハ47系、Kenji、ディーゼル機関車(DE10)

※キハE130系のみ車内にお入りいただけます。



キハE130系 (イメージ)



キハ110系 (イメージ)



キハ47系 (イメージ)



Kenji (イメージ)



DE10 (イメージ)

(4) その他イベント

▶ 体験乗車

ミニSL乗車、線路点検作業車(レールスター)乗車体験

▶ 鉄道模型展示

▶ こども駅長制服撮影会

▶ お子さまコーナー(輪投げ、綿あめ等)

▶ ペーパークラフト教室

▶ 児童絵画展表彰式

▶ 物販(鉄道部品・鉄道グッズ販売、駅弁販売、軽食等)

5 茨城県北芸術祭に合わせて“駅装飾”・“特急車内ポスター掲出”実施

茨城県北芸術祭開催に合わせて、芸術祭会場の最寄駅等を装飾し、芸術祭を盛り上げるとともに、列車で芸術祭にお越しになったお客さまをおもてなしします。また、常磐線特急列車の車内にポスターを掲出し、芸術祭の情報を発信します。

(1) 階段装飾

実施箇所：水戸駅 3・4番ホーム日暮里方階段、5・6番ホーム日暮里方階段

高萩駅 ホーム階段、改札脇階段

磯原駅 上りホーム階段、下りホーム階段



水戸駅 3・4番ホーム日暮里方階段



水戸駅 5・6番ホーム日暮里方階段



高萩駅 ホーム階段



磯原駅 上りホーム階段

(2) 「のぼり旗」による駅装飾

茨城県北芸術祭の「のぼり旗」を会場最寄駅に掲出します。芸術祭最寄駅以外の茨城県内のJR各駅については、観光キャンペーン用の「のぼり旗」を掲出します。

▶ 芸術祭「のぼり旗」設置駅(会場最寄駅)

常磐線：大津港駅・磯原駅・高萩駅・日立駅・常陸多賀駅

水郡線：常陸大子駅・常陸大宮駅・常陸太田駅



芸術祭「のぼり旗」掲出(日立駅)

(3) 特急車内ポスター掲出

常磐線特急列車ご利用のお客さまに、茨城県北芸術祭に関心を持っていただき、多くのお客さまに芸術祭にお越しいただけるよう、特急列車の車内にポスターを掲出します。



特急列車車内ポスター掲出

6 JR駅もアート空間に様変わり！

(1) 常陸多賀駅

常陸多賀駅前商店街にて作品を展示するニット・インバーダーの力石咲[※]さんにより、常陸多賀駅待合スペースの一部（駅時刻表ボード・ベンチ・ポスターラック等）がニットでくるまれ、カラフルでポップなイメージに様変わりします。

ちからいしき
※力石咲

2004年、多摩美術大学美術学部情報デザイン学科卒業。2009年J-WAVE内のアーティスト支援企画「Traveling Project」に選出され、オーストラリアで創作活動。この活動をきっかけにニット・インバーダーとして世界を編み込むプロジェクトをスタート。茨城県北芸術祭では、常陸多賀駅前商店街全体をニットで包もうとする壮大なプロジェクトを計画・進行中。



駅時刻表ボード



記入台を編むニット・インバーダー力石咲さん



力石咲さんがニットで編んだ記入台

(2) 日立駅

日立駅では、ダニエル・ビュレン^{※1}さん、村上史明^{※2}さん、2名のアーティストが作品を展示します。望遠鏡型の作品が展示され、さらに全長300メートルの虹色のカットティングシートで覆われることで日立駅がアート空間に一変します。



ダニエル・ビュレン Daniel BUREN

Photo-souvenir: In the corridor: the Four Rainbows, work in situ,
Daniel Buren for KENPOKU ART 2016. Japan ©
DB and ADAGP Paris
写真提供：茨城県北芸術祭実行委員会東京事務局



村上史明 Fumiaki MURAKAMI

《風景幻灯機》2016
写真提供：茨城県北芸術祭実行委員会東京事務局

※1 ダニエル・ビュレン

世界を舞台に活躍する現代を代表する画家でありコンセプチュアルアーティスト。1965年から彼の作風である8.7センチのストライプを作品に用いる。1968年にパリ市内や地下鉄の駅にストライプのインスタレーション作品を展開し、注目を集める。2007年、高松宮殿下記念世界文化賞受賞（絵画部門）。茨城県北芸術祭では、ガラスの日立駅舎の壁面を虹色のカットティングシートで覆いつくす。

※2 村上史明

高校教員、ドイツ・ケルンメディア芸術大学研究員を経て、現在筑波大学芸術系総合造形領域助教。テクノロジーと芸術の関係性をテーマに作品制作を行う。第9回文化庁メディア芸術祭アート部門優秀賞受賞。茨城県北芸術祭では、望遠鏡型のオブジェを日立駅と常陸大宮市の旧美和中学校に設置し、各地に伝わる伝承や民話を取込みながら、現実と幻想が混じり合う経験をつくり出す。

7 日立駅が代表となって茨城県北芸術祭“応援事業※”実施

茨城県北芸術祭“応援事業”として日立市内の高校生が制作した作品を最寄駅に展示し、J R東日本と市内高校が一体となって「茨城県北芸術祭」を盛り上げます。

※茨城県北芸術祭“応援事業”：「KENPOKU ART 2016 茨城県北芸術祭」を応援し、広報・PR面で協力する事業

(1) 展示期間

2016年9月17日（土）～11月20日（日）

(2) 展示駅及び参加高等学校

大 甕 駅：日立商業高等学校・茨城キリスト高等学校

常陸多賀駅：多賀高等学校

日 立 駅：日立第一高等学校・日立第二高等学校・明秀日立高等学校

十 王 駅：日立北高等学校

(3) 展示物

最大B1サイズの絵画類

(4) その他

日立駅では改札内に特設案内ブースを設置し、列車で日立駅へお越しになったお客さまに芸術祭の情報発信を行います。



応援事業ロゴ



特設案内ブース



大甕駅展示



常陸多賀駅展示



日立駅展示



十王駅展示

8 茨城県北芸術祭“インフォメーションセンター”“ナビスポット”設置

茨城県北芸術祭では、各市町にインフォメーションセンターを設置し、作品やイベントの案内等芸術祭に関する各種情報を提供するとともに、作品鑑賞パスポート等の販売を行います。また、来場者の導線上、インフォメーションを補足する箇所にナビスポットを設け、情報提供を行います。

(1) 案内所の種別

▶ インフォメーションセンター

芸術祭に関する総合案内;各会場の作品やイベント、宿泊、交通等の案内
作品鑑賞パスポート、ガイドブック、グッズ等の販売;県北地域の観光地案内など

▶ ナビスポット

芸術祭や現地の観光案内のチラシ・パンフレットを常設

(2) 設置箇所（JR駅）

▶ インフォメーションセンター

磯原駅（北茨城観光案内所）・日立駅（情報交流プラザ ぷらっとひたち）
水戸駅（水戸観光案内所）

▶ ナビスポット

常陸多賀駅・常陸太田駅（コミュニティスペース）・常陸大宮駅
常陸大子駅（観光案内所）

※茨城県北芸術祭の作品写真はイメージです。実際の展示物とは異なります。

※写真・図は全てイメージです。

※花、植物の見頃は天候によって変わることがございます。

※記載の情報は変更となる場合はございます。